

6. 気象の状況

三面海に囲まれた本県は、南九州、四国南部、紀伊半島及び伊豆半島と並んで温暖な地方である。しかし両総台地は内陸性気候で寒暖差はやや大きく、反対に太平洋及び内陸沿岸は海洋性の気候で比較的暖かい。

雨量は地域により差はあるが、房総丘陵の南側が多く、北西部は少ない。特に内湾沿岸は本県でも最も雨量の少ない地域である。

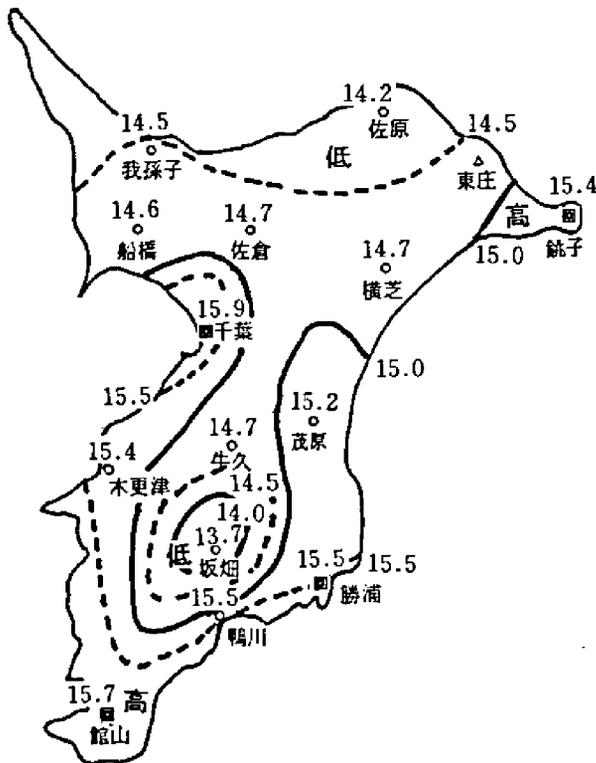
平成7年の気候概況は次のとおりである。

平成7年は、日照時間がかかなり多く、平均気温もやや高かった。特に目立つ点としては1月の日照時間がかかなり多かったこと、5月の降水量が記録的に多かったこと、8月は降水量が少なく平均気温がかかなり高かったこと、10月も平均気温がかかなり高かったこと、11月は日照時間がかかなり多かったこと、12月は日照時間がかかなり多く降水量がかかなり少なかったことがあげられる。

分 布 図

県内年間平均気温 (°C)

1995年



県内年間降水量 (mm)

1995年

